

東北地方太平洋沖地震総合研究グループ研究集会プログラム(2016.2.23案)

日時 2016年2月29日-3月1日

場所 東京大学地震研究所 2階 セミナー室AB

2月29日

開始時刻	持ち時間	機関名	課題名	発表者
10:00	0:25	気象庁	7002 自己浮上式海底地震計観測による宮城県沖の地震活動 7012 地震・津波・火山防災情報の改善に係る知見・成果の共有 7014 地震観測、地殻変動観測 7020 防災・減災に関する知識の普及啓発	中村浩二
10:25	0:25	気象庁	7009 海溝沿い巨大地震の地震像の即時的把握に関する研究 7011 津波の予測手法の高度化に関する研究	勝間田明男
10:50	0:25	海上保安庁	8001 海底地殻変動観測 8002 海洋測地の推進 8004 地殻変動監視観測	石川直史
11:15	0:20	東北大学	1210 海溝軸近傍で観測可能な海底地殻変動観測技術の開発	木戸元之
11:35	0:25	東京大学地震研究所	1503 日本海溝・相模トラフプレート境界で起こる多様なすべり現象の包括的モデル構築	篠原雅尚・ 金川久一 (千葉大)
12:00	0:25	(研) 海洋研究 開発機構	4001 先端的掘削技術を活用した総合海洋掘削科学の推進 4002 海域地震発生帯研究開発	小平秀一
12:25	1:05		昼食	
13:30	0:20	京都大学防災研究所	1912 強震動によって発生する地すべり現象の発生ポテンシャル評価と事前予測手法の高度化	千木良雅弘
13:50	0:20	名古屋大学環境 学研究科	1704 地震・津波被害に対する地域社会の脆弱性測定に基づくボトムアップ型コミュニティ防災・減災に関する文理融合的研究	高橋誠
14:10	0:25	東京大学地震研究所	1510 相似地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング手法の構築	五十嵐俊博
14:35	0:25	京都大学大学院 理学研究科	1801 地震サイクルシミュレーションの高度化	平原和朗
15:00	0:20		休憩	
15:20	0:25	国土地理院	6001 内陸の地殻活動の発生・準備過程の解明 6003 プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握 6004 GNSSを用いた震源メカニズム即時推定技術の開発 6005 GNSS連続観測 (GEONET) 6006 地形地殻変動観測 6008 宇宙測地技術による地殻変動監視 6012 GNSS観測・解析技術の高度化	矢来博司
15:45	0:20	東京大学地震研究所	1524 日・米・NZ国際協力によるスロースリップでのプレート境界面断層滑りメカニズムの解明	望月公廣
16:05	0:20	東北大学	1202 蔵王山周辺の総合観測	山本 希
16:25	0:20	東北大学	1207 地震に先行する大気中ラドン濃度変動に関する観測	長濱裕幸
16:45	0:20	東京大学地震研究所	1518 データ流通網の高度化	鶴岡弘
17:05	0:55		討論	
18:00			終了	

3月1日 11時以降は内陸部会との合同

開始時刻	持ち時間	機関名	課題名	発表者
10:20	0:20	(研) 防災科学 技術研究所	3002 基盤地震観測等データのモニタリングによる地殻活動の理解と予測技術の開発 3004 基盤的地震・火山観測網の整備・維持及び超大容量の地震・火山観測データの効率的流通システムの構築	松澤孝紀・ 松原誠
10:40	0:20	(研) 産業技術 総合研究所	5004 海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明	宍倉正展
11:00	0:25	東北大学	1203 地殻応答による断層への応力・変形過程の解明と予測	松澤暢
11:25	0:20	弘前大学	1101 地殻流体と地震活動の関係及び過去地震の災害誘因の解明	小菅正裕
11:45	0:45	京都大学防災研究所	1905 日本列島変動の基本場解明：地殻とマントルにおける物性、温度、応力、流動-変形 1907 横ずれ型の内陸地震発生の物理モデルの構築	飯尾能久
12:30	1:15		昼食	
13:45	0:25	東京大学地震研究所	1505 日本列島基本構造モデルの構築	岩崎貴哉・ 佐藤比呂志
14:10	0:25	東北大学	1204 地震断層すべり物理モデルの構築	松澤暢
14:35			内陸部会へ	